



2016年2月3日

各 位

会 社 名 キョーリン製薬ホールディングス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 穂川 稔
コード番号 (コード番号 4569 東証第一部)
問 合 せ 先 社長室 コーポレートコミュニケーション部長 宮木 修次
電 話 03-3525-4707

通期業績予想の修正について

当社は、平成28年2月3日開催の取締役会において、平成27年5月13日（決算発表時）に開示した平成28年3月期の業績予想を当第3四半期連結累計期間までの各事業における業績推移を勘案した結果、修正することとしましたのでお知らせいたします。

記

1. 当期の連結業績予想数値の修正（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	120,200	16,000	16,300	11,500	155.51
今回修正予想（B）	120,200	19,400	19,700	13,000	175.39
増減額（B-A）	—	3,400	3,400	1,500	—
増減率（%）	—	21.3	20.9	13.0	—
（ご参考）前期実績 （平成27年3月期）	113,121	14,737	15,490	12,064	161.63

2. 連結業績予想数値の修正理由

売上高では、新医薬品事業の売上予想を上方修正しましたが、後発医薬品事業の売上予想を下方修正し、全体としては当初の予想を据え置きました。新医薬品事業における売上予想の上方修正は、海外新医薬品でライセンス契約締結による一時金収入を計上したことによるものです。

営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益を上方修正した要因は、契約一時金収入を計上したことによります。なお、固定資産の譲渡（平成27年9月30日プレスリリース）による約18億円の特別利益に加えて、現在検討中である杏林製薬(株)岡谷工場 生産機能のキョーリン製薬グループ工場(株)への移転に関わる費用等の現時点での想定額を織り込みました。

なお、配当につきましては、基本方針に基づき、配当性向30%を目処に株主還元を実施いたします。

以 上

（注）上記予想は本資料発表時において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は本予想額と異なる可能性があります。